



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月8日

上場会社名 セントラルスポーツ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4801 URL <https://www.central.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 後藤 聖治  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 安部 宏 TEL 03-5543-1803  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	10,397	12.0	105	22.8	△32	—	△45	—
2022年3月期第1四半期	9,282	74.8	86	—	292	—	180	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 5百万円 (△97.8%) 2022年3月期第1四半期 228百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△4.06	—
2022年3月期第1四半期	16.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	43,587	23,220	53.2	2,072.22
2022年3月期	44,777	23,540	52.5	2,100.70

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 23,210百万円 2022年3月期 23,529百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	12.00	—	29.00	41.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	21.00	—	21.00	42.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,100	8.7	1,400	61.3	1,150	△12.4	690	△4.6	61.60
通期	45,000	11.6	3,160	108.3	2,600	0.2	1,540	0.0	137.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	11,466,300株	2022年3月期	11,466,300株
2023年3月期1Q	265,661株	2022年3月期	265,661株
2023年3月期1Q	11,200,639株	2022年3月期1Q	11,200,639株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項につきましては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」）の影響による活動制限が緩和され個人消費が回復基調となりましたが、中国のロックダウンやウクライナ情勢の影響、円安進行や物価上昇などもあり、景気の回復は緩やかなものにとどまりました。

当フィットネス業界におきましては、感染予防対策を充分に行い営業・運営を続けており、オンラインでのサービスも定着してまいりました。これに加え、行動制限の解除に伴って顕在化した健康ニーズの高まりに対応するサービスの提供にも努めております。

このような状況の中、当社グループは経営理念である『0歳から一生涯の健康づくりに貢献する』のもと、「現在価値の最大化による顧客満足度の向上」を目標とし、施設管理力・接客力・指導力の再強化に努めております。

店舗につきましては、業務受託施設として4月より「福岡市立城南市民プール」（福岡市城南区）、「福岡市立早良市民プール」（福岡市早良区）、「健康増進センターすこやかん」（神奈川県横須賀市）の3店舗、直営店として5月に「セントラルスポーツジム24金町店」（東京都葛飾区）と「セントラルスポーツジム24永福町店」（東京都杉並区）の2店舗の運営を開始しました。その結果、第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営182店舗、業務受託60店舗の合計242店舗となりました。

会員動向につきましては、スクールの会員数は回復基調ですが、感染症による影響が長引いており、全体の会員数は前年比99.7%となりました。

店舗運営につきましては、経済活動制限の緩和に伴い一部営業時間の見直し等を行うとともに、引き続き密にならない環境づくりとして、空調換気環境や衛生管理の徹底、レッスン時間の短縮やソーシャルディスタンスの確保等により、万全の環境を整えて運営いたしました。イベントについては、引き続きオンラインでの開催をしております。

当第1四半期連結累計期間も引き続き感染症への対応を大きな課題と捉え、厳しい環境下での経営基盤の構築、安定的に利益を確保できる体制づくりを進めました。感染症に対応した事業継続計画（BCP）の推進に取り組み、超効率化運営、契約の見直し、オンライン事業の拡充、営業施策としては、フィットネス会員継続促進、休会者・一時退会者の早期復帰促進、子供向け短期教室や体験会実施強化などを実施しました。同時に法人向け利用促進キャンペーンの実施や小中学校の水泳授業受託の推進等を進めてまいりました。

所属選手につきましては、6月にハンガリーで開催された世界水泳選手権に競泳の小堀倭加（こぼりわか）、水口知保（みずぐちちほ）が出場、飛込競技の金戸凜（かねとりん）はシンクロ3m飛板飛込にて銀メダルを獲得し、飛込競技として歴史的快挙を果たしました。また6月開催の第76回全日本体操種目別選手権終了後、谷川航（たにがわわたる）と谷川翔（たにがわかける）が10月にイギリスで開催される世界体操競技選手権大会の日本代表に選出されました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,397百万円（対前年同期比12.0%増）、経常損失は32百万円（前年同期は経常利益292百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は45百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益180百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,189百万円減少し、43,587百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金、売掛金が減少したこと等により流動資産合計が950百万円減少したことをはじめ、有形固定資産が221百万円、投資その他の資産合計が17百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ870百万円減少し、20,367百万円となりました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金、流動負債のその他に含まれる未払法人税等が減少したこと等により流動負債が308百万円減少、長期借入金等が減少したこと等により固定負債合計が561百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ319百万円減少し、23,220百万円となりました。この結果、自己資本比率は、53.2%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、本資料公開時点において、2022年5月13日の決算短信で発表しました通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,209	8,390
受取手形及び売掛金	1,409	1,203
商品	242	216
貯蔵品	54	50
その他	867	973
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	11,782	10,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,888	32,963
工具、器具及び備品	5,656	5,700
土地	7,990	8,016
リース資産	6,984	6,989
その他	66	68
減価償却累計額	△32,848	△33,223
有形固定資産合計	20,737	20,515
無形固定資産	451	450
投資その他の資産		
繰延税金資産	551	604
敷金及び保証金	10,305	10,244
その他	998	989
貸倒引当金	△49	△48
投資その他の資産合計	11,806	11,789
固定資産合計	32,995	32,755
資産合計	44,777	43,587

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	102	94
1年内返済予定の長期借入金	1,974	1,901
契約負債	3,225	3,708
その他	5,024	4,314
流動負債合計	10,328	10,020
固定負債		
長期借入金	3,865	3,405
リース債務	4,882	4,788
退職給付に係る負債	124	119
資産除去債務	1,551	1,561
その他	485	471
固定負債合計	10,909	10,347
負債合計	21,237	20,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261	2,261
資本剰余金	2,273	2,273
利益剰余金	19,574	19,204
自己株式	△623	△623
株主資本合計	23,484	23,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36	33
為替換算調整勘定	7	61
その他の包括利益累計額合計	44	95
非支配株主持分	11	10
純資産合計	23,540	23,220
負債純資産合計	44,777	43,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	9,282	10,397
売上原価	8,476	9,402
売上総利益	806	995
販売費及び一般管理費	720	889
営業利益	86	105
営業外収益		
受取利息	1	1
補助金収入	282	0
その他	78	7
営業外収益合計	362	9
営業外費用		
支払利息	156	147
その他	0	0
営業外費用合計	156	147
経常利益又は経常損失(△)	292	△32
特別損失		
投資有価証券評価損	11	—
特別損失合計	11	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	280	△32
法人税、住民税及び事業税	42	60
法人税等調整額	58	△47
法人税等合計	100	13
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179	△46
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	180	△45

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179	△46
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△3
為替換算調整勘定	48	54
その他の包括利益合計	48	51
四半期包括利益	228	5
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229	5
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。